

## 和牛産肉能力直接検定成績

比嘉喜政\* 金城寛信 千葉好夫

### I 緒 言

当场では、1981年度（昭和56年度）より種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1993年度（平成5年度）検定終了牛の成績について取りまとめたので報告する。

### II 検定牛及び検定方法

検定牛（種雄候補牛）は、肉用牛群改良基地育成事業により認定された雌牛から、計画交配により生産され、産子調査により選定された19頭の雄子牛であった。その概要を表-1に示した。父牛別の内訳は、晴姫の息牛7頭、北国7の8、安波土井及び紋次郎の息牛がそれぞれ4頭であった。生産地は19頭のうち石垣市11頭、城辺町3頭、伊江村2頭、平良市、下地町及び仲里村がそれぞれ1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法（直接法）により実施した。直接法とは、7～8カ月齢の雄子牛を112日間、濃厚飼料については朝夕2回時間制限給餌し、粗飼料については乾草を不断給餌とし、その間の増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表-1 検定牛の概要

No.名号	生年月日	血 統				生産地	検定終了 年月日
		父	母	母方祖父	母方祖祖父		
1糸国	4. 5. 10	北国7ノ8	やえたかふじ	糸富士	晴 美	石垣市	5. 4. 6
2福姫	4. 4. 10	晴 姫	ふくきた	北国7ノ3	照 姫 3	石垣市	5. 4. 6
3富晴	4. 4. 8	晴 姫	第2たけとみ	晴 美	第7糸桜	石垣市	5. 4. 6
4輝姫	4. 4. 4	晴 姫	かついち	第7糸桜	坊 三	石垣市	5. 4. 6
5照姫	4. 6. 11	晴 姫	まつてる	照 姫 3	第7糸桜	石垣市	5. 6. 1
6安姫	4. 6. 11	晴 姫	いとやす	糸富士	第7糸桜	石垣市	5. 6. 1
7北乃春	4. 8. 18	北国7ノ8	はるなつ	晴 姫	糸 茂	石垣市	5. 7. 27
8雪国	4. 8. 12	北国7ノ8	ともゆき2	晴 美	伯 豊	石垣市	5. 7. 27
9晴中	4. 8. 10	晴 姫	なかしげ	糸 茂	福 金 波	石垣市	5. 7. 27
10菊波	4. 8. 8	安波土井	みつよし	菊 秀	吉 宗	平良市	5. 7. 27
11安文	4. 10. 10	紋次郎	第7あきな	秀 安	富 栄	仲里村	5. 9. 21
12安次	4. 10. 8	紋次郎	やよい	安 隆	第18明石	城辺町	5. 9. 21
13北国2	4. 10. 4	北国7ノ8	さかえ	糸富士	照 姫 3	石垣市	5. 9. 21
14裕次	4. 12. 15	安波土井	はじめ	篤 郎	第6豊川	伊江村	5. 11. 16
15健次	4. 11. 14	紋次郎	ち よ	安 隆	利 美	城辺町	5. 11. 16
16武広	5. 1. 12	紋次郎	はるひめ	安波土井	立川17ノ6	城辺町	6. 1. 11
17桜 2	5. 3. 25	安波土井	ほそぞくら	糸富士	第7糸桜	伊江村	6. 3. 8
18糸晴	5. 3. 24	晴 姫	いとひめ	糸 広	糸 茂	石垣市	6. 3. 8
19富波	5. 3. 12	安波土井	よねふじ	糸富士	糸 茂	下地町	6. 3. 8

\*現（財）沖縄県畜産公社

## Ⅲ 検定成績

検定成績は、表-2に示すとおりであった。各調査項目の平均値は、開始時日齢241日、開始時体重263.2kg、終了時体重392.3kg、180日補正体重202.2kg、365日補正体重406.6kg、DG1.15kg、粗飼料摂取率43%、各飼料要求率（濃厚飼料4.02、粗飼料3.03、DCP0.54、TDN4.11）、体型評点82.4であった。

DGについて選抜基準の1.20kg以上の牛は5頭で、最高は糸晴の1.32kgであった。DGの最低は武広の0.91kgであった。365日補正体重については、富波の457.7kgが最も大きく、最も小さかったのは武広の337.2kgであった。飼料要求率（TDN）については、照姫の3.83が最も優れ、最も劣っていたのは富波の4.53であった。

19頭の平均値を1992年度（平成4年度）の全国平均値と比較すると、DGと365日補正体重は劣っていたが、飼料要求率（DCP、TDN）は優れていた。

表-2 検定成績

No.名号	開始日齢	体重 (kg)				DG (kg)	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点
		開始時	終了時	180日補正	365日補正			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN	
1 糸国	219	276.0	400.5	232.5	438.3	1.11	43	3.89	2.97	0.53	3.99	82.0
2 福姫	249	263.0	380.3	198.7	384.5	1.05	46	3.80	3.28	0.53	4.05	81.1
3 富晴	251	275.7	406.2	206.5	408.5	1.17	42	4.20	3.03	0.56	4.24	81.4
4 輝姫	255	304.7	441.0	225.1	438.6	1.22	39	4.15	2.68	0.54	4.06	83.1
5 照姫	243	234.3	365.3	183.1	377.0	1.17	42	3.80	2.73	0.51	3.83	82.9
6 安姫	243	241.3	369.0	186.0	380.4	1.14	45	3.77	3.11	0.52	3.96	82.2
7 北乃春	231	253.5	376.7	209.9	400.9	1.10	43	4.35	3.25	0.59	4.44	80.9
8 雪国	237	258.0	379.7	203.2	397.1	1.09	41	4.26	2.96	0.56	4.25	81.5
9 晴中	239	249.3	389.3	195.2	406.8	1.25	42	3.90	2.85	0.52	3.95	82.0
10 菊波	241	264.5	389.0	205.4	402.3	1.11	43	4.02	3.03	0.54	4.11	84.0
11 安文	234	236.7	366.0	189.0	387.9	1.15	44	3.85	2.98	0.52	3.97	82.8
12 安次	236	239.3	362.3	189.6	381.0	1.10	43	4.21	3.23	0.57	4.33	82.6
13 北国2	240	284.0	416.7	220.5	432.1	1.18	41	4.17	2.95	0.56	4.18	82.8
14 裕次	224	261.0	386.0	216.0	418.0	1.12	43	4.17	3.19	0.57	4.28	83.0
15 健次	255	245.7	377.0	182.3	374.7	1.17	46	3.70	3.18	0.52	3.94	82.4
16 武広	252	234.3	336.3	117.9	337.2	0.91	46	3.95	3.36	0.55	4.19	81.9
17 桜2	236	281.3	426.0	221.7	448.0	1.29	42	3.82	2.73	0.51	3.84	83.0
18 糸晴	237	285.3	433.0	223.9	454.1	1.32	43	3.92	2.93	0.53	4.01	83.2
19 富波	249	312.7	452.7	234.9	457.7	1.25	41	4.54	3.14	0.60	4.53	82.8
平均値	241	263.2	392.3	202.2	406.6	1.15	43	4.02	3.03	0.54	4.11	82.4
標準偏差	10	22.7	29.5	25.7	31.1	0.09	2	0.22	0.19	0.03	0.19	0.8
全国平均値	-	-	-	-	426.3	1.21	-	-	-	0.59	4.50	-

注) 全国平均値は1992年度(402頭)の平均値

なお、これらの検定牛の中から選抜基準（DG 1.20以上及び365日補正体重430kg以上）に基づき間接検定候補牛として、輝姫、桜2、糸晴及び富波の4頭を選抜した。また、選抜基準には達していないが田尻系で固められた菊波及び安文についても間接検定候補牛として選抜した。